

製品名: カスパーゼ 3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85205**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 32 kDa; Observed MW: 32 kDa

抗原情報

遺伝子名	Caspase 3
別名	CASP3; CPP32; Caspase-3; CASP-3; Apopain; Cysteine protease CPP32; CPP-32; Protein Yama; SREBP cleavage activity 1; SCA-1
遺伝子 ID	836.0
SwissProt ID	P42574
免疫原	ヒトカスパーゼ 3 の合成ペプチド

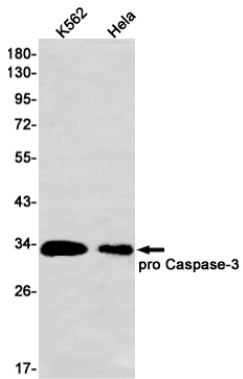
背景

カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性なプロ酵素として存在し、保存されたアスパラギン酸残基におけるタンパク質分解処理を受けて大小 2 つのサブユニットを形成し、これらが二量体化して活性酵素を形成します。

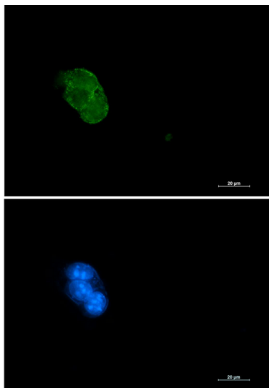
研究分野

アポトーシス、MAPK シグナル伝達経路

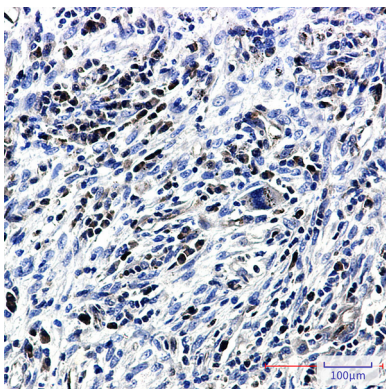
画像データ



Caspase3 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の Caspase3 のウエスタン ブロット分析。



カスパーゼ 3 抗体および DAPI (青) を使用した 293 のカスパーゼ 3 (緑) の免疫細胞化学分析。



パラフィン包埋ヒト肺癌組織の Caspase3 抗体を用いた免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。